患者さん

「肺扁平上皮癌のポドプラニン*が与える影響」

この研究は、通常の診療で得られた記録および試料（切除癌組織）を使って行われます。
このような研究では、国が定めた指針に基づき、当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であり、学術研究機関に試料・情報を提供する場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

*ポドプラニンとは、体内のリンパ管内皮細胞に発現しているタンパク質で、さまざまな癌（頭頸部癌、肺扁平上皮癌、脳腫瘍、各種扁平上皮癌など）で発現が見られます。ポドプラニンが発現している場合に予後が悪いと報告されている癌もあれば、予後が良いと報告されている癌もあり、臓器によってポドプラニンの発現と癌の予後との関係は一様ではありません。

1 研究の対象	2015 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までの期間に、当院にて肺扁平上皮癌で手術を受けた方
2 研究目的・方法	肺扁平上皮癌は、肺癌の種類の中でよく見られ、肺腺癌に次いで 2 番目に多いです。しかし、腺癌と比べると研究はまだ進んでいません。本研究では癌細胞の運動能（癌細胞が身体内でどの程度移動できるかを表す能力）に関わる「ポドプラニン」という物質に注目しています。ポドプラニンの転移、進展、予後に関する役割を明らかにすることは、癌の転移プロセスの解明や、抑制するのに役立つと考えられています。 2015 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までの期間に当院にて肺扁平上皮癌手術を受けた患者さんから取り除かれた癌組織（試料）と、既に得られている診療録の情報を使用し、ポドプラニンの発現量と予後との関係性を調べます。 研究の期間：施設院長許可（2024 年 4 月予定）後～2027 年 2 月 28 日
3 試料・情報の利用拒否	試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる試料・情報の種類	情報：カルテ情報、血液検査データなど 試料：手術にて摘出された癌組織の病理標本
5 研究実施体制	[試料・情報の提供を受ける機関] 大阪医科薬科大学、胸部外科学・佐藤 澄 [試料・情報を提供する機関] 八尾徳洲会総合病院 、呼吸器外科・市橋 良夫 [外部への試料・情報の提供]

	当院の院長：URL：https://www.yao.tokushukai.or.jp/guide/director.php 情報については、USB メモリに保存して、当院研究責任者が大阪医科薬科大学に直接提供します。また、手術にて摘出された癌組織の病理標本（試料）については、当院研究責任者が大阪医科薬科大学に直接提供します。情報・試料については、それぞれ個人を特定できないようにコード番号を付して提供を行います。 コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：市橋 良夫 病院名・所属：八尾徳洲会総合病院・呼吸器外科 住所：大阪府八尾市若草町1番17号 連絡先：072-993-8501（代）

2024 年 5 月 1 日作成（第 1.1 版）